



2024年6月20日

街づくり委員会

- 日時： 6月20日(木) 10時30分～
- 場所： 河原センタービル(3階会議室 大阪市中央区難波千日前5-19)
- 内容：

1. 放置自転車対策今後のスケジュールと進め方について

2. まちなかミュージック今後の活動について

3. 2024ミナミベっぴんプロジェクトについて

4. 大阪・関西万博への取り組みについて

5. その他

●今後の開催予定

【街づくり委員会】 7月18日(木) 10:30～ 河原センタービル 会議室
8月22日(木) 10:30～ 河原センタービル 会議室※

【防災WG】 7月29日(月) 10:30～ 河原センタービル 会議室

【企画委員会】 6月27日(木) 15:00～ 河原センタービル 会議室
7月25日(木) 15:00～ 河原センタービル 会議室

以上

2024年度
街づくり委員会

240620

なんばひろば
まちなかミュージック

東急と歌舞伎町のエリアマネジメントの関係

2008年

一社) 歌舞伎町タウン・マネージメント(TMO)設立

- 下記5つの事業を推進

安全・安心事業 まちづくり事業 情報発信事業

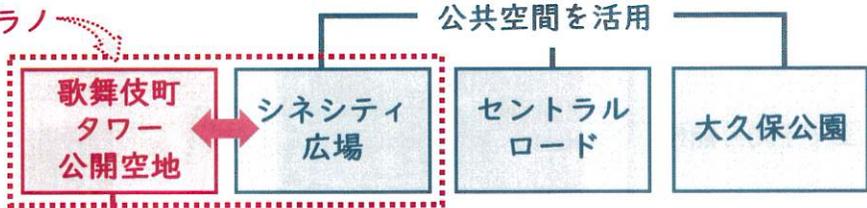
地域活性化事業 エリマネ事業

2009年

歌舞伎町まちづくり誘導方針

- 歌舞伎町の大衆娯楽や文化等の魅力発信による“エンタメシティ”としての賑わいと活力の創出
- シネシティ広場を囲む中心街区を核として賑わいと活力を地区全体へ拡大

新宿ミラノ



公共空間の一体的運営

2023年

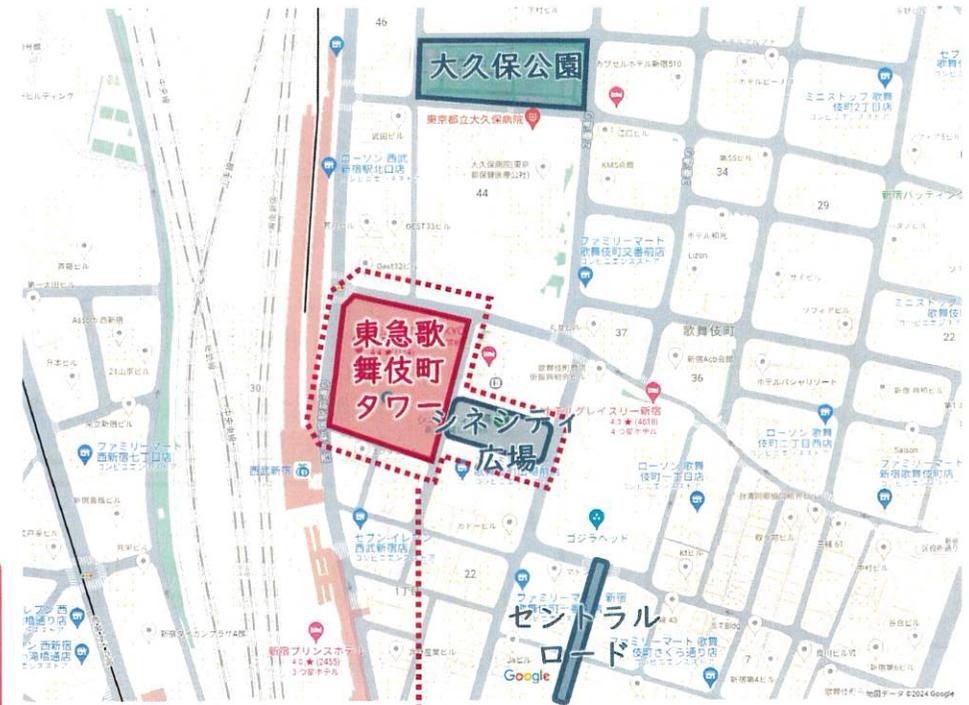
まちづくり団体

- (株)東急レクリエーション
- 東急電鉄(株)

エンタメ新会社

- (株)東急レクリエーション
- 東急電鉄(株)
- ソニーミュージックグループ

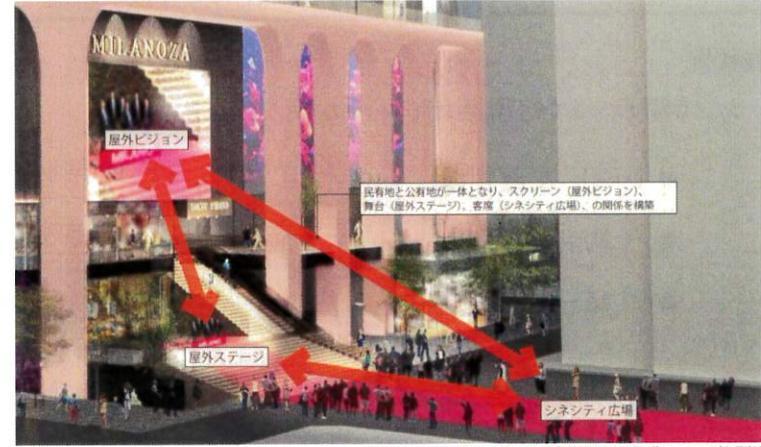
まちづくり団体の組成



歌舞伎町TMOと連携

デザイン方針

・広場を客席と見立て、客席に面してビジョン(約200m)、ステージ(約150m)を整備することで、民有地と公有地が一体となった「屋外劇場的都市空間」を形成する。



※シネシティ広場と屋外ステージ間の区画(特別区道21-350)の取り扱いについては今後要検討

公認ストリートライブ「Kabukicho Street Live」の取組

経緯・目的

歌舞伎町タワー

シネシティ広場

建物側

- ・エンタメに特化
- ・外に向け文化発信

コンテンツ側

- ・新宿が路上ライブの聖地化し、演者増加
- 警察の取締り強化

建物とコンテンツの目指す所

歌舞伎町を路上ライブの聖地に

概要

- ・利用開始：2024年1月15日(月)～
- ・対象者：音楽活動実績をお持ちのミュージシャン・シンガー（プロ・アマ/オリジナル楽曲有無不問）
- ・利用条件：利用ルールを順守頂くこと
- ・受付時間：平日 17:00～21:00
土日祝 13:00～21:00
- ・利用時間：予約1枠あたり60分（準備・片付け時間含む）
- ・利用料金：なし
- ・主催：東急株式会社、株式会社東急レクリエーション
- ・運営：株式会社TSTエンタテイメント

会員登録手順

- 1) 「KabukichoStreetLive」LINE公式アカウントを友だち登録
- 2) 「KabukichoStreetLive」STORES予約サイトにて会員登録

利用の流れ（予約～当日）

- ・事前に利用ルールを確認の上、「STORES予約」上で予約可能枠から希望時間を選択して申込み
- ※予約受付期間：利用日の7日前～利用前日まで
- 予約当日、現地にて演奏実施



選定なし



実施状況

3/25時点（利用開始から2か月強）

- LINE 友達登録 762 名
- 予約利用者 198 組
- リポート利用者 69 組
- 男女比 女 **7** : 男 **3**
- 弾き語り中心が約6割（カラオケが約4割）
- オリジナル楽曲の割合が想定よりも高い

▶ 利用層の中心は、今まで路上ライブを敬遠していた人、新宿以外で歌っていた人（下北沢・柏・海老名・川崎等）が多い。

ヒアリング内容

運営について

- 立ち合い：基本的にはなし（人件費はかかっていない）
ただし、有力なアーティストとの関係構築のためにスタッフが巡回する場合はある。
- 警備：施設側の巡回警備員が、何かあれば対応するという体制
- PA等：アーティストの持ち込み。
- 予約対応：ラインにて実施。希望日時については早い者勝ちシステム。
- 投げ銭：施設営業時間内は認めている。
- アーティスト審査：実施していない。常に幅広くアーティストを募集。

音楽について

- 音量制限：60-70dBの制限
- ジャンル：楽器演奏のみはNG。
また、ダンス、大道芸等の音を出さないものもNG。

プロモーションについて

- アーティストが告知。
- ライブ情報はX（Twitter）でも共有。
- ストリートライブを撮影してYOUTUBEに投稿しているYOUTUBERと連携して、取組のPRに繋げている。



道路法上の道路（歩行者専用道路）

- 課題 -

広場の運営基準が厳しい

利用時間が20時半まで
(撤去も含めて21時まで)

物販が禁止
(道路上ですることじゃない)

警備員が必要

規制を緩和し、活用可能性を増やす

方針① 歌舞伎町タワーの運営と同じ
事業者がイベントを運営

方針② 警察と協議をしながら、
イベントを実施し実績を作る

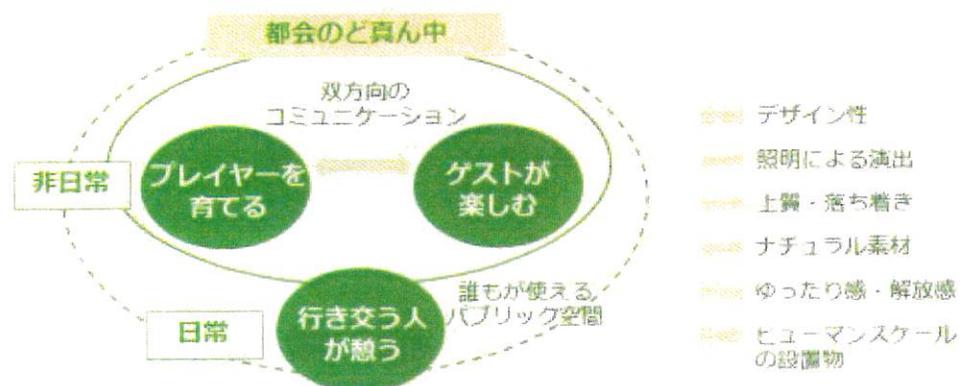
『道路使用許可が取りやすくなった』

『問題がないエビデンスの積み上げ』

なんばひろば使用ルール【概要版】(231013版)より

なんばひろばのコンセプト

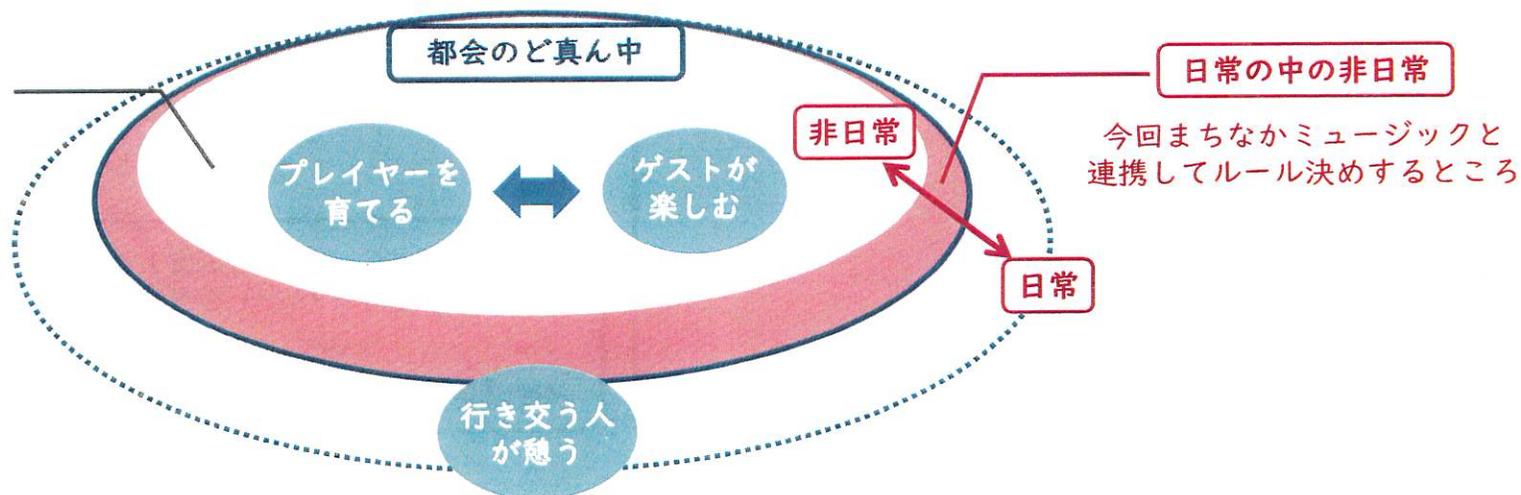
「憩い、出会い、生み出す 大阪発のリアルメディア なんばの真ん中」



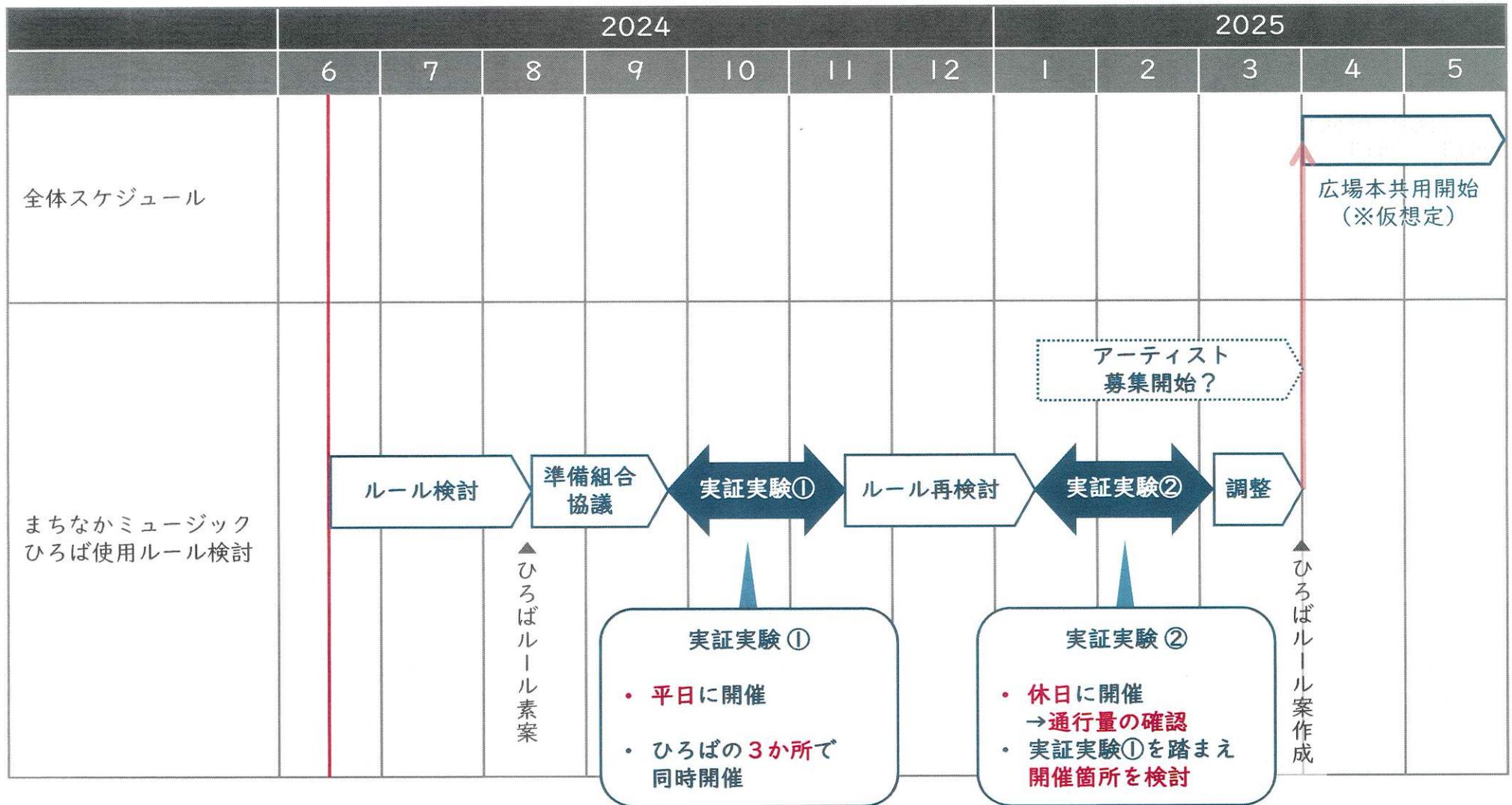
[広場の活用を通して実現したいこと]

- 1: なんばエリアの既存の魅力を発信する・エリアのブランド価値向上
- 2: 新しい文化・プレイヤーを創出する・応援する
- 3: 広場のみでなく、エリア全体の回遊性向上・経済効果につなげる

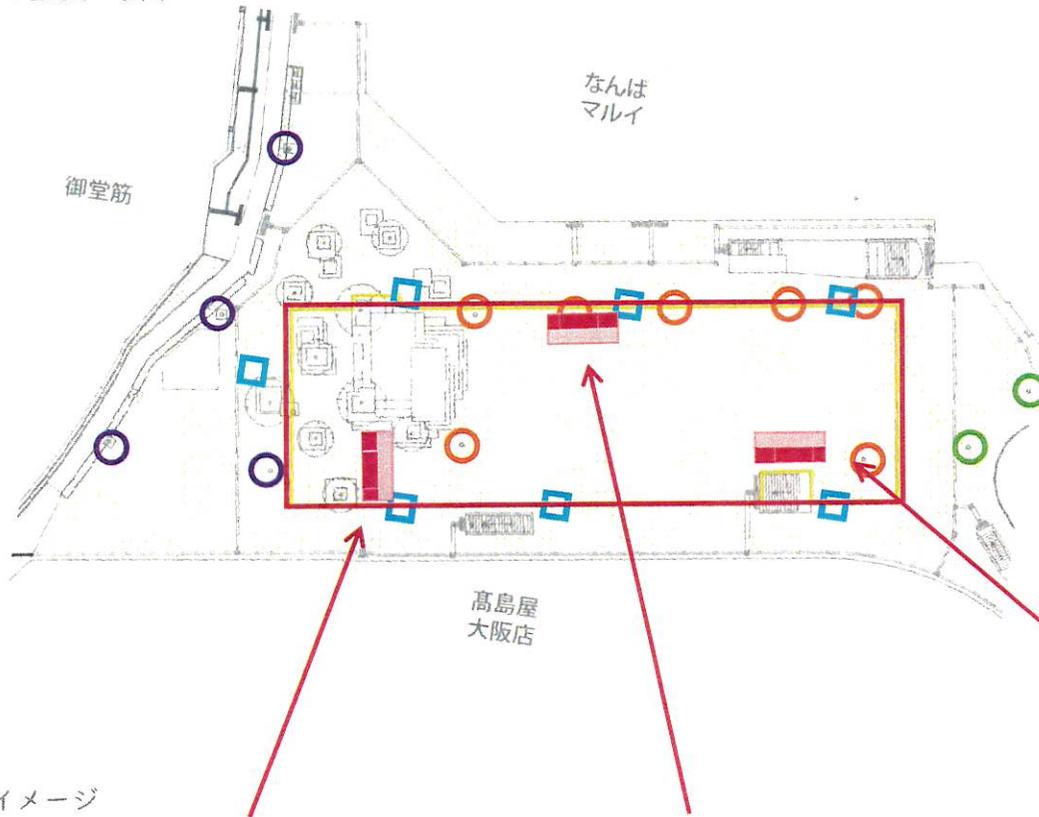
なんばひろばの使用ルールが決められているイベント



検討スケジュール



実証実験の企画 (案)



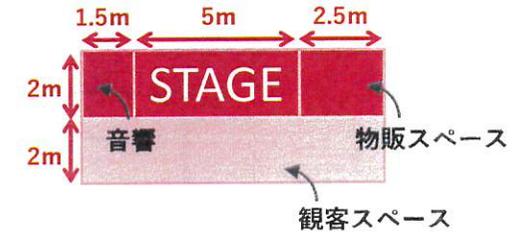
実証実験①

はじめは、なんばひろばで実施可能な**最大規模**のまちなかミュージックを実施。

計3か所の同時開催

- アーティスト同士の音が干渉しないか
- 来場者動線が交錯しないか
- 警備の必要はないか、体制に問題はないか
- 周辺に対する音の影響はどうか **等確認**

まちなかミュージックに必要なスペース
※通行量やパフォーマンスによって変わるため、ベーシックなものを掲載



場所のイメージ



ルールの検討 (案)

	施策・打ち手	全体プロデューサー		
1	開催場所	実証実験を通して検討		
2	開催頻度	実証実験を通して検討		
3	開催時間	実証実験を通して検討 (イベントの無い平日夕方~夜が有力)		
4	音量	実証実験を通して検討	<p>音楽イベント以外にも影響がある内容は、特にひろば全体との連携が必要</p> 	
5	予約システム	実証実験を通して検討		
6	ジャンル	実証実験を通して検討		
7	投げ銭・物販	実証実験を通して検討		
8	音響機材・搬入等	アーティストが手持ちのアンプを持参する。保管場所があれば、貸出は可能。搬出入はアーティスト自身で実施。		ひろば全体と連携
9	警備体制	実証実験を通して検討 最初は警察に求められる(警備員・バリケード等)が、徐々に減らしていきたい。		ひろば全体と連携
10	運営体制	実証実験を通して検討 常駐はなし。緊急時の対応フローのみ検討したい。		ひろば全体と連携
11	アーティスト募集の仕組み	実証実験を通して検討 LIVE EFFECT と差別化しつつアーティストを募集。		
12	PR方法	基本的にはアーティストに任せつつ(SNS,動画配信等)、イベントスケジュールはひろばのHPに掲載等		ひろば全体と連携
13	収益源	実証実験を通して検討 広告や、メディアとの連携等、何か考えられないか。		ひろば全体と連携